

日本私立看護系大学協会
2021年度特別事業「シミュレーション教育教材開発」プロジェクト

事業の概要：

コロナ禍の2020年・2021年度は、多くの看護系大学が臨地実習の中止により、学内演習あるいは遠隔授業を使って実習に替わるものを実施せざるをえなくなった。各大学では個々の教員の努力により創意工夫された教材を使って実施しているが、その実習・教材の質はいろいろである。

本協会の大学教育委員会が2020年に実施したシミュレーション教育の研修では、臨地実習中止となった大学の教員等が、臨地実習に替わる実習にヒントとなるものを求めて、多数の教員が参加した。また、コロナ禍は2020年度だけでは収束せず、2021年度も続く見込みであることから、本協会では、2021年度の特別事業としてシミュレーション教育教材の開発とその成果物の配付を行うこととした。シミュレーション教育教材は、コロナ禍が収束した後も、広く活用されることが予想されることから、臨時実習や演習における教育の質の向上に貢献することが期待される。

本協会では、この「シミュレーション教育教材の開発」を2021年度の特別事業として、プロジェクトチームを組織し、その成果物（研修プログラム、DVD等の教材等）は会員校に無償で提供する予定である。なお、成果物は、会員校の備品整備状況がいろいろであることから、特別なシミュレーション器材がなくても利用できるものに限定する。

目的：

シミュレーション教育の効果的導入を支援することを目的として、シミュレーション教育教材の開発とその成果物を日本私立看護系大学会員校協会へ無償配付すること。

予算：

2021年度予算 2,000万円

成果物（想定される）：

1. シミュレーション教育の指導方法の基本が学べる教材（DVD）
2. 基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、在宅看護論の領域でのシミュレーション教育での指導案（シナリオ）
3. 各指導案で行った授業の解説入り動画

成果物作成における諸条件：

1. 高機能のシミュレータや特殊な機器を必ずしも必要としないものとする。
2. 「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」「看護学士課程教育におけるコアコンピテンシーと卒業時到達目標」「看護基礎教育検討会報告書」に基づいて指導案を作成し、汎用性のあるものとする。

3. 各指導案（シナリオ）では、代替実習全体のどの部分でシミュレーション教育を導入すると効果的なのかも説明していく。
4. After コロナとなっても活用できるように、すべての指導案（シナリオ）は、看護の視点での対象把握と臨床推論が強化できる内容とする。

プロジェクトチームメンバー：

- ・シミュレーション教育教材の開発に先進的に取り込んでいる大学の教員・職員
（東京医科大学・福岡女学院看護大学等）
- ・日本私立看護系大学協会大学理事から推薦を受けたシミュレーション教育に造詣が深い教員・職員